

肥大型心筋症(HCM)とは

心臓は筋肉で構成されていて、その筋肉が分厚くなることで心室の内腔が狭くなり、血液循環が不十分になる疾患です。心房内で滞った血液が血栓を形成し、動脈に詰まることで血栓塞栓症を起こすことがあります。

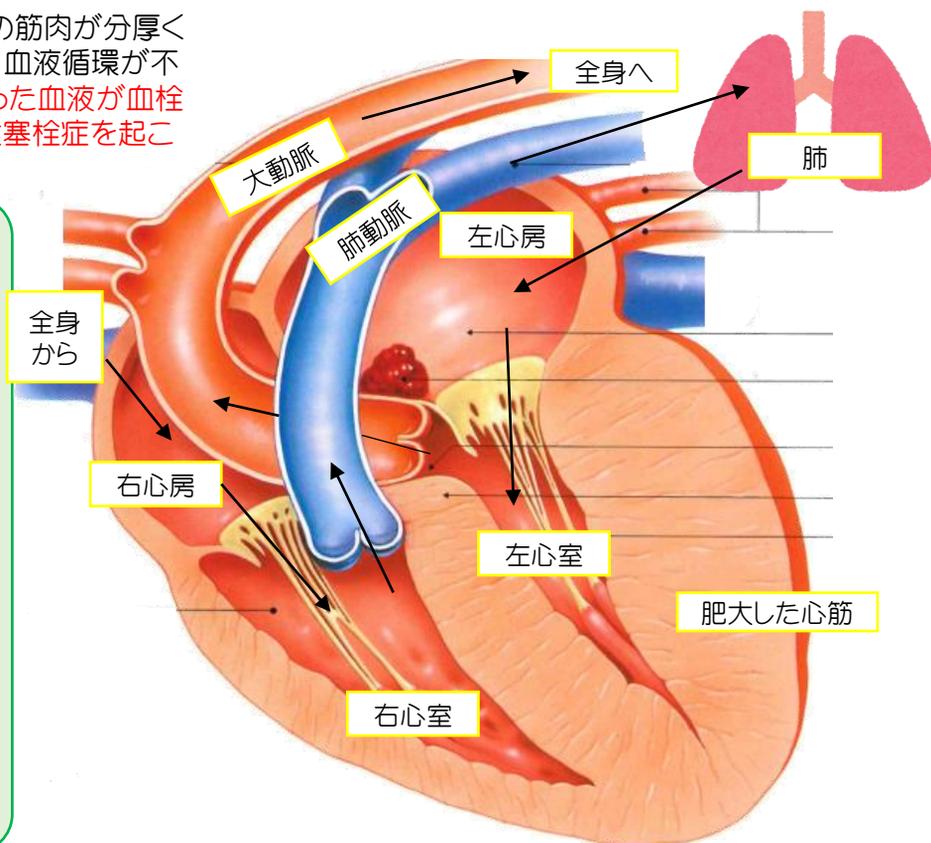
《症状》

初期は心機能の変化を心臓や他の循環システムが補っているため症状が無く、補いきれなくなるくらいまで症状が進行すると発症します。

- 疲れやすい、元気が無い
- 呼吸が早い(肺水腫)
- 食欲が無い 等

《診断》

心雑音を伴わないことが多く、聴診だけでは分かりません。心臓のレントゲン、エコー検査で診断します。また、心筋の負担具合を調べる血液マーカーがあります(外注検査です)。



《緊急を要する状態》

✓ 呼吸がおかしい！

左心房から左心室への血液循環が滞ると左心房の手前である肺にも負荷がかかります。肺の中で渋滞を起こした血液は水分を肺胞に逃がし、スポンジ状の肺が水を含んだ状態になります。この状態を【肺水腫】と言い、湿った咳、呼吸困難、チアノーゼを起こし大変危険な状態になります。日ごろから睡眠時の呼吸回数を数えて記録しておくことで早期発見につながります。大人しく眠っている時に、「吸って吐いて」を1回とカウントしてみましょう。(15秒の測定でもOKです) 正常では1分間に30回未満ですが、通常時より10回以上多かったり、40回/分以上の呼吸である場合は肺水腫を起こしている可能性がありますのですぐにご連絡ください。

✓ 血栓塞栓症

心臓内でできた血栓は足の動脈に詰まる場合があります。「急に足が動かなくなった」と来院される方が多いです。強い痛みを伴い、血栓によって血流が止まっているため足は冷たくなり、足が壊死してしまうこともあります。

《治療》

◆ 内服薬

血栓塞栓症の完全な予防は出来ませんが、危険性を少しでも下げるために抗血栓剤を使用します。その他、心拍数を落とすようなβブロッカーや、血管拡張薬、降圧剤などを状態に合わせて使用します。

◆ 食事

高血圧の原因となるため、塩分の高い食事は避けなければなりません。シニア用のフードや腎臓病用の療法食は低塩分の物が多いです。